



いみず

# 体協だより

2009.3



ごあいさつ



(財)射水市体育協会  
会長 分家 静 男

日ごろ、関係の皆様には、本協会の運営に温かいご支援とご理解を賜り、深く感謝を申し上げます。

本協会の発足から3年近くが経ちましたが、30競技協会、27地区体育協会及び

3スポーツ関係団体の皆様との加盟のもと、これまで、各種競技の競技力向上をはじめ、誰もが気軽にスポーツを始めることができる環境づくりに鋭意取り組んでまいりました。

また、施設の管理運営につきましても、海竜スポーツランド及びサン・ビレッ

ジ新湊の指定管理者として3年目を迎え、今後とも、より充実したサービスの提供に努め、利用者の皆様の利便性向上に、引き続き努力してまいりたいと考えております。

今後とも、加盟団体の皆様と力を合わせ、スポーツの普及・振興を通じ、活力ある射水市のまちづくりの一翼を担ってまいれる所存でありますので、皆様の今後ますますのご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 功績を讃えて

平成20年度

## 体育功労者表彰

平成21年1月25日(日)、大島社会福祉センターにおいて、今年度の体育功労者表彰式を行いました。

今年度本市スポーツ水準の向上に尽力された方及び永年にわたり地域スポーツの振興に貢献されている方を顕彰しました。

表彰された64名の方々及び8団体は、次のとおりです。



賞状、記念品を受け取る射北中学校ヨット部の代表

## 被表彰者名簿

### ◇ 特別・一般功労

#### (1) 特別表彰

小川広隆、二口 修、下條俊雄、  
橘川謙三、野開勝政

#### (2) 一般表彰

石原幹士、矢野 勝、竹嶋雅之、  
鴨野順次、前川伸吉

### ◇ 優秀成績

#### (1) 個人

山岸聖弥、野手柁希、油谷優仁、  
川村風咲、笹川莉奈、島崎莉奈、  
南 百恵、角居のどか、  
阿尾加奈子、森田悠介、藤坂星夜、  
廣瀬 弘、村島 匠、中村美咲、  
南 和輝、町口幾美、片口 夢、  
竹林茉莉、愛宕香里、墓越和哉、  
赤井龍也、荒木彰吾、宮原彩佳、  
荒木郁菜、向野詩織、麻生淑樹、  
生地貴博、野上晃平、吉田周平、

#### (2) 団体

木村 裕、田知本 遥、岡田 遼、  
林 孝樹、高木雄大、四十九 遥、  
川崎雅也、荒木 絵、佐々木南歩、  
浦上生羽、岩木美綾子、田中春帆、  
片岡永理奈、釣 義稀、田畑裕一、  
西原裕介、原田宣明、  
烏帽子田佳穂、烏帽子田里穂、  
坂本紗奈、坂本絵奈、坂本京太

射北中学校ヨット部、  
新湊南部中学校男子新体操部、  
新湊小学校ミニバスケットボール  
スポーツ少年団、  
新湊西部中学校野球部、  
小杉中学校男子柔道部、  
小杉中学校男子柔道部一・二年生  
チーム、  
小杉南中学校女子剣道部

### ◇ 個人及び団体

角谷壮績、水野浩二、中島剛司、  
海王丸ソフトバレーボールクラブ



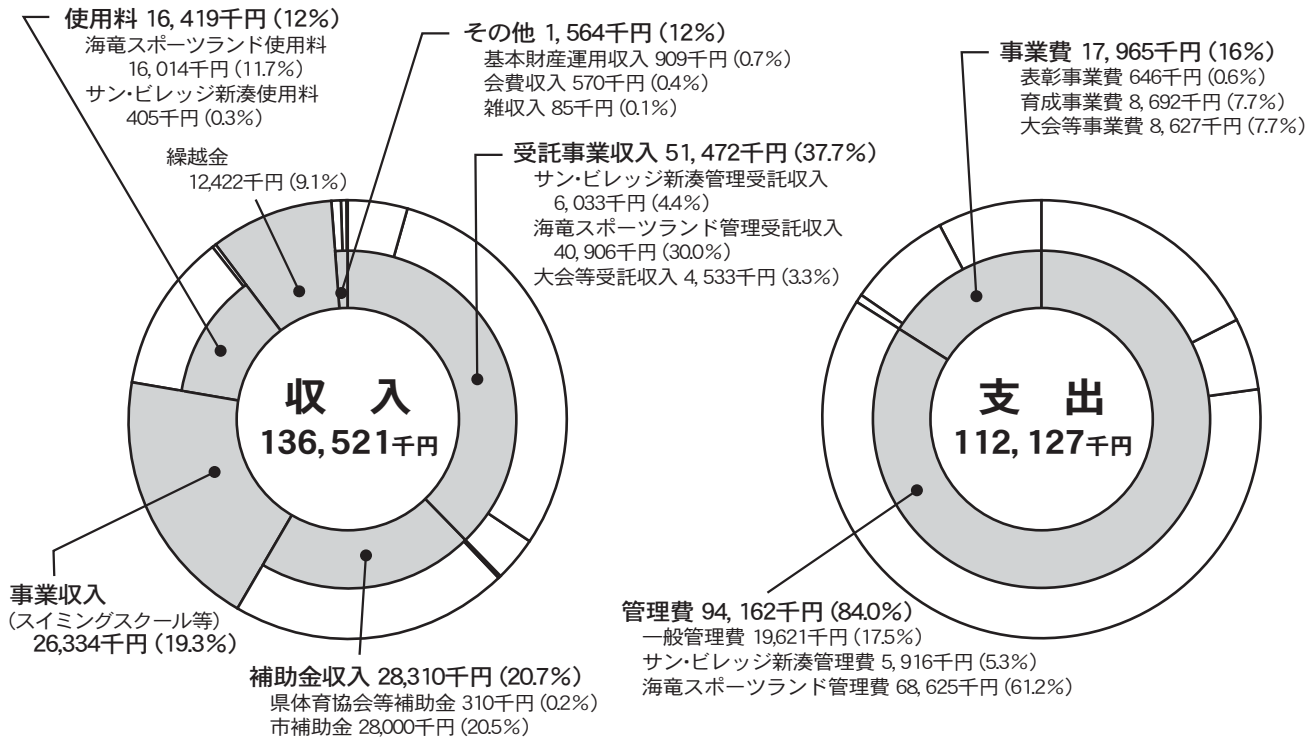
### いみず体協だより 目次

平成20年度体育功労者表彰 .....	2	(表紙/海王丸ロードレース・スタートの様子)	
平成19年度体協の決算状況 .....	3	射水市体育指導委員協議会だよりNo.4 .....	8
平成20年度上半期予算執行状況		体育協会役員及び加盟団体 .....	11
射水市スポーツ少年団		体育協会20年度主な事業 .....	12
スポーツによる青少年の健全育成を目指して!		施設利用案内 海竜スポーツランド	
.....	4	サン・ビレッジ新湊	



# 平成19年度決算状況

平成19年度の決算状況について、お知らせします。

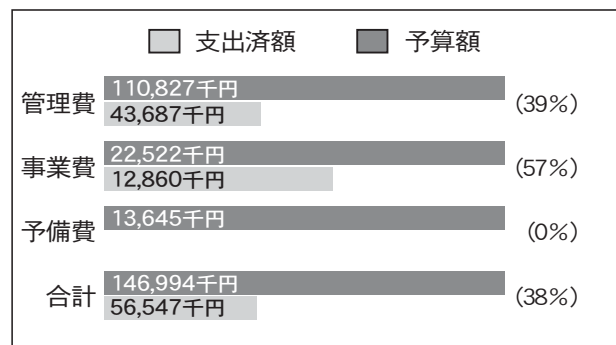
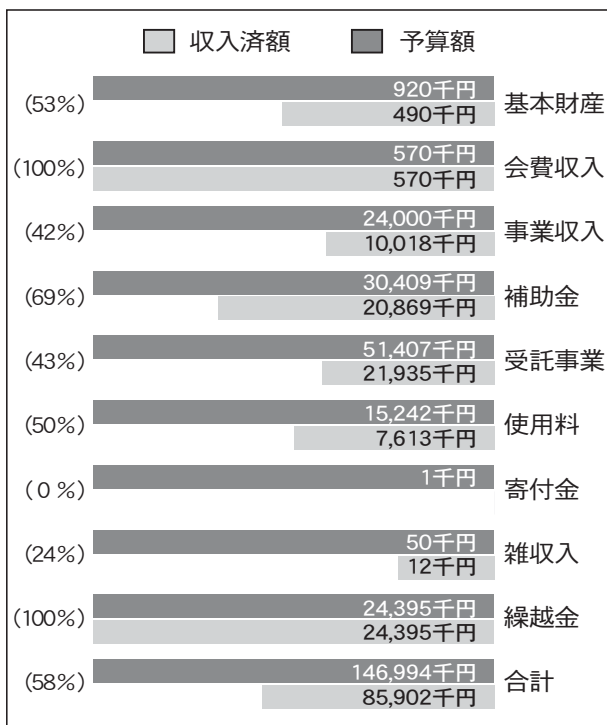


収入総額136,521千円－支出総額112,127千円＝差引24,394千円は、20年度へ繰り越しました。

# 平成20年度 予算執行状況

(平成20年9月30日現在)

平成20年度の上半期の予算執行状況について、お知らせします。



	予算額	支出済額	支出
管理費の内訳	110,827千円	43,687千円	39%
一般管理費	23,287	11,427	49
サン・ビレッジ新湊管理費	6,373	2,661	42
海竜スポーツランド管理費	81,167	29,599	36
事業費の内訳	22,522	12,860	57
表彰事業費	800	0	0
広報事業費	160	0	0
育成事業費	8,622	8,517	99
大会等事業費	9,940	4,093	41
スポーツ推進事業費	3,000	250	8

# 射水市スポーツ少年団

## スポーツによる青少年の健全育成を目指して

射水市スポーツ少年団には13種目63単位団、1,300名余りの団員が登録し、各種目で活発に活動しています。平成20年度、射水市で登録している単位団は下表のとおりです。

射水市スポーツ少年団は、地域を基盤とし、子どもたちにスポーツを通して社会性や自主性を身に付ける中で、心身ともに健全育成することを目的としています。また、スポーツ少年団活動には、レクリエーション活動や社会活動も含まれるので、多感なジュニア期における貴重な体験をする場にもなっています。

2月8日には、綱引競技で2回目となる冬季スポーツレクリエーション大会を開催しました。24チームが参加し、寒さに負けず力のこもった熱戦を繰り広げました。一本の綱にチーム全員の力を集中することで、チームの連帯感を高めることができました。また、大会で互いに汗を流す中で、他チームや他種目の団員とも交流を深める良い機会になりました。

4月には総合結団式を予定し、登録単位団が一堂に会します。登録単位団が一堂に会します。興味のある方は是非見学に来てください。日時場所等はホームページやCATVで広報予定です。

射水市スポーツ少年団では、今後とも団員がスポーツを通して多くの有意義な体験ができるよう、指導者・役員協力して団の運営に取り組んでいきますので、スポーツ少年団の活動に、より一層のご理解とご協力をお願いいたします。また、この3月でスポーツ

少年団を卒業される団員は、これまで団員として鍛えてきた体と熱意をもって、ますます勉強に、スポーツに励んでいただきたいと願っています。

### 各競技の紹介

#### 軟式野球

地域に愛されるチームを目指して

射水市スポーツ少年団に軟式野球は20チームあり、団活動や各種大会、イベント等に参加しています。

主な大会としては、5月に開催される高円宮賜杯学童野球大会（射水市予選）があります。また、6月には全国スポーツ少年団野球大会（射水市予選）があります。とりわけこの2大会では、県大会そして全国大会にもつながるの



本部長 勝山 雄平

《射水市スポーツ少年団 登録単位団一覧表》

活動種目	活動地区	単位 団名	活動種目	活動地区	単位 団名			
野 球	新 湊	庄西ライオンズ	サ ッ カ ー	新 湊	新湊レッドサンターズ			
		スポーツ少年団新湊クラブ			ハーフェンフットボールクラブ			
		放生津イーグルス			FORZA片口			
		塚原ジャイアンツ			東明FC			
		作道少年野球クラブ			小杉少年サッカークラブ			
		片口スポーツ少年団		小杉南少年フットボールクラブ				
		堀岡スポーツ少年団		ウインズ小杉サッカークラブ				
		東明ボーイズ		大門少年サッカークラブ				
		金山野球スポーツ少年団		大島大島サッカースポーツ少年団				
		太閤山少年野球クラブ		大島大島サッカースポーツ少年団				
	大江クラブ	新湊ミニバスケットボールクラブ						
	小杉ニュースターズ	奈呉ファインガールズスポーツ少年団						
	歌の森少年野球クラブ	塚原ラビッツ						
	中太閤山少年野球クラブ	放生津インフィニティ						
	大門ファイターズ	小杉ドリームズ						
	大門JBC	大島射水TWO BIG						
	水戸田ツインズ	小杉小杉卓球クラブ						
	大島ペアーズ	大門卓球スポーツ少年団						
	大島野球少年団大島フレンズ	大島大島卓球クラブ						
	バレーボール	新 湊	下村ファイヤーズ	卓 球	新 湊	小杉ジュニアバレーボール少年団		
放生津ホワイトウィングス			金山ジュニアバレーボールクラブ					
作道グリーンエースバレーボールクラブ			なでしこバレーボールクラブ					
東明ガールズ			侍バレーボールクラブ					
小杉ジュニアバレーボール少年団			下村バレーボールクラブ					
大門		金山ジュニアバレーボールクラブ						
大門		なでしこバレーボールクラブ						
大門		侍バレーボールクラブ						
下村		下村バレーボールクラブ						
新湊		新湊少年剣道教室	硬式テニス		大 門	新 湊	心技塾	
小杉	小杉南剣道少年団	小杉少年柔道クラブ						
小杉	小杉剣道教室	立山塾						
大門	あしつき剣友会	新湊		少林寺拳法富山奈呉				
大門	あしつき剣友会	小杉		少林寺拳法小杉スポーツ少年団				
剣 道	新 湊	新湊少年剣道教室		ドッジボール	大 門	杉っ子ドッジファイターズ		
		小杉南剣道少年団				大門ドッジボールクラブ		
		小杉剣道教室				WING射水スポーツ少年団		
		大門				あしつき剣友会	大門	大門空手道スポーツ少年団
		大門				あしつき剣友会	大門	大門ジュニアバドミントンクラブ
	大門	あしつき剣友会	ソフトテニス		小杉	WING射水スポーツ少年団		
	大門	あしつき剣友会	空 手 道		大門	大門空手道スポーツ少年団		
	大門	あしつき剣友会	バドミントン		大門	大門ジュニアバドミントンクラブ		

で、どのチームもこの大会に照準を合わせて日々練習に取り組んでいます。また、年間を通しては、射水市20チームによる射水市交流大会、8月に開催される朝日新聞社旗争奪野球大会、9月にはケープル杯学童新人大会等があります。また、それぞれのチームで練習試合や各種大会へ参加し、市内はもとより市外・県外チームとの交流も深めています。その他の活動としては、射水青年会議所主催で韓国の子どもたちと野球を通じてホームステイ交流、また姉妹都市にもなっている千曲市との交流大会にも参加しています。その他、野球だけでなく、スポーツ少年団としての活動である綱引大会等への参加及び地域住民とのボランティア活動などにも積極的に参加し、皆様方から感謝の気持ちを学んでいます。最近では、子どもの減少によりチームによっては一時的に不足とい



う問題も抱えているのが現状ですが、野球の好きな子どもたちのためになんとか数多くの思い出が残せるよう、私たち指導者は日々努力しています。射水市スポーツ少年団軟式野球各々のチームが、これからも地域住民の皆様方から応援していただけるよう、そして愛されるチームを目指します。

## サッカー

### 未来へつなげ

射水市には9つのサッカー少年団があります。

小学校単位を規模として活動しており、地域の児童が中心となり、団を構成しています。各チームによって練習日は違いますが、朝や夕方・夜に市内の小学校グラウンドを主体として、楽しく、真剣にサッカーという競技に触れ合っています。そして「いつかはJへ」と、日本・世界の舞台へ躍進していった団員達に続けとばかりに情熱を持って、練習に取り組んでいます。



サッカー大会は各地で多く開催されていますが、各チームで交流のあるチームや県サッカー協会の開催する大会に参加して日ごろの練習の成果を発揮しています。また、射水市9つのチームが合同で行う大会もあり、毎年8月に射水市招待サッカー大会を開催しています。県内外から多くのチームに参加いただき大会が行われますが、射水市内のチームも他に負けないパフォーマンスを発揮してくれま

大切な時期と理解し、団員はもちろん父兄や指導者など関わる者すべてが、学び習得する機会を設けています。サッカーは常に進化しています。サッカーという競技基盤を射水で学び、日本の、そして世界の選手を目指して、これからも進化し続けていきます。

## バスケットボール

### バスケットボールをやろう!

やろう!

射水市には、男子2チーム、女子5チームの計7チームのミニバスケットボールクラブがあります。

男女7チームのクラブは、年に数回スポーツ少年団の大会を通じて交流しており、毎年8月には県内外のチームの参加を募り、大きな大会(射水カップ)を行っています。今年度の主な成績としては、富山県スポーツ少年団競技別総合交流大会で新湊ミニバスケットボールクラブ(女子)が優勝、塚原フビッツ(女子)

がベスト4に残る成績を収めています。

私たちは、バスケットボール競技を通じて技術の向上を図るとともに、選手間の親睦や年齢の異なる子どもたちが様々な体験を行うことにより、自主性・協調性・積極性を子どもたちに身に付けて貰うことを目指しています。

これからもバスケットボール競技を通じて、様々なことを子どもたちに教えていきたいと思っています。

(男子)

- 射水 TWO BIG
- 放生津インフィニティ (女子)
- 射水 TWO BIG
- 小杉ドリームズ
- 新湊ミニバスケットボールクラブ
- 塚原ラビッツ
- 奈呉ファインガールズ



## 柔道

柔道で心と体を鍛えよう

射水市内には、スポーツ少年団に加盟している少年柔道クラブが3つあります。



どのクラブも試合に勝つことはもちろん、柔道を通じて心身の鍛錬・子どもたちの健全育成を目指し活発に活動しています。

### ○小杉少年柔道クラブ

練習日 毎週月、水、金曜日

(祝日等の場合は休み)

練習時間 午後7～9時

練習場所 小杉武道館ブレイズ

会費 月額 1,000円

(保険代含む)

### ○心技塾

練習日時 毎週月、水曜日(午後7～9時)、毎週土曜日

(午後6時30分～9時)

### 練習場所

新湊アイシン軽金属スポーツセンター柔道場

会費 無料(保険代必要)

### ○立山塾

### 練習日時

毎週火～金曜日(午後7～9時)、毎週日曜日(午前9時30分～11時30分)

練習場所

### 立山ケース株式会社敷地内

(射水市広上)

会費 無料(保険代必要)

## ドッジボール

いつでもどこでも誰とでも

ドッジの語源は「かわす、逃げる」という意味です。「かわす、逃げる」という言葉はマイナスなイメージですが、「運動は苦手」という子どもたちにとっても、容易に参加できる種目です。上手に逃げることであれば、ヒーローにもなれます。

公式ドッジボールは夏大会(県代表)・春大会(北信越代表)ブロックの2つの全国大会を開催しています。苦しい練習を乗り越え、厳しい予選を勝ち残ったチームだけが参加を許される大会です。射水市スポーツ少年団には、ドッジボールで2チームの登

## バレーボール

Vを目指して

射水市内の、小学生を対象にしたスポーツ団体にはたくさんある種目がありますが、私たちはバレーボールに挑戦しています。

市内には、女子7チーム、男子2チームの少年団が活動しており、小学校や市立の体育館で練習をしています。

練習の成果を発表する機会には年間10回程度あり、市内のチームや他の市町村のチームとの交流を通じて切磋琢磨しています。

特に毎年2月には他市のチームを本市に招待し、試合交流しながら技術の習得や親睦を図っています。

最大の目標は全国大会出場ですが、日々の練習でバレーボールの基礎を身に付け、中学校や高校に進学してもバレーボールを愛する選手を育てるため、指導者同士の情報交換も大切に行っています。

最近子どもたちが減って、チームの存続が危うくなっている団体もあります。今、たくさんの仲間が増えることを願っています。



平成20年度総合結団式(平成20年4月27日(日))  
(アルビス小杉総合体育館センターで)

## 卓球

### ピン球にかける情熱

現在、射水市スポーツ少年団に加盟している卓球競技団体は小杉・大門・大島地区で3団体あり、それぞれの地区で定期的に活動しています。

卓球は『温泉卓球』でも知られるように台とラケットがあれば誰でも気軽にできるスポーツです。しかし、一見簡単そうに見えますが、高い瞬間発力、反射能力、持久力が必要されると共にメンタル面にも左右されるなど、奥が深く難しい競技であると思います。

ある有名な監督さんの話で、「体や技術は練習して、鍛えればみんな同じになる。勝負の分かれ目は『心』対『心』、【人間】対【人間】の勝負になる」と言っていました。

我々指導者は、小さなピン球を通して大きな人間形成に努めると共に、いつかこの団員の中から日本を代表するプレーヤーが育つことを夢見て、情熱を持って指導に当たります。



## 硬式テニス

テニスを通じて、マナーを学ぶ

### ○小杉ジュニアテニスクラブ

活動日時 毎週水曜日(18〜21時)、毎週土曜日(13〜16時)

活動場所 (4〜11月)歌の森運動公園テニスコート、(12〜3月)アルビス小杉総合

体育センター

クラブ員 小中学生の男女

### ○大門ジュニアテニスクラブ

(ZILL)

活動日時 毎週水・土曜日

18〜21時(低学年等は20時まで)

活動場所 大門総合体育館

クラブ員 保育園児〜中学生の男女

の男女

両クラブ共に、テニスの技術習得だけでなく、テニスを通じて社会のルールやマナーを学んでもらいたいと願っています。

### ○試合予定

富山県春季小・中学生選手権(4月)、富山県春季ジュニア選手権(5月)、

サマートーナメント小中学生大会(7月)、ジュニアテニス大会稲波杯富山県秋季小・中学生選手権(8月)、秋季ジュニア選手権・コーセルあすなる杯(11月)

## ソフトテニス

ソフトテニスを知っていますか?

硬式テニスの起源は古く11世紀ごろに始まりました。そのテニスが明治時代に日本に伝わったのですが、当時の日本ではテニス用品の輸入が難しかったので、おもちゃのゴムボールを使って行うテニスが考案されました。それが『ソフト(軟式)テニス』の始まりです。

ソフトテニスの魅力は、ボールがやわらかいので小さなお子さんでも『安全に楽しみながら』『気軽に遊び感覚』で始められるところです。思いつきりボールを打ち合う楽しみは実際にやってみれば分かりますが、夢中になり気がつくと上達しており、楽しさも増

えていきます。試合は2対2

のダブルスで行うのが主流で、パートナーと協力して色々な作戦を立てながらプレーします。また、多くの試合に参加することで、技術の向上のほか、多くのテニス仲間との地域を越えた交流により心の成長が図られます。テニスは紳士のスポーツといわれるとおり、日本武道と同様に礼儀やマナーも身に付けることができます。

## バドミントン

シャトルで、楽しむ×育つ

バドミントン競技は、子どもも大人も同じコート、同じ道具でできるスポーツです。そこで、子どもたちにはバド

ミントンを通じ、健康で元気な体をつくり、礼儀正しい姿勢を身に付けること、試合に勝つだけではなくチームの和を大切に仲間を思いやる心を育てること、そして生涯のスポーツとしてバドミントンの楽しさを伝えていくことを目指しています。

大門ジュニアバドミントン

クラブは、平成16年度に発足して5年目を迎えました。現在大門、大島小学校の2年生から6年生までの27名で活動しています。練習は週2回で、10分間走、ストレッチ、素振り、フットワーク、基礎打ち、ゲームなどを楽しく、時には厳しく行っています。興味のある方は、練習を見に来てください。

また、射水市内の中学校にバドミントン部は少ないので、子どもたちには継続して競技ができる練習環境があればと思います。射水市内でバドミントン競技の登録団体は一つですが、たくさんの登録を望んでいます。

## 少林寺拳法

少林寺拳法とは人づくりの道!

少林寺拳法は、必ずお互いに、合掌礼をかわして始まり、合掌礼をかわして終わります。少林寺拳法は「行」としての性質があります。その演練は、

# いみず

去る12月20日に「夜なべ談笑会 市長さんと語らんまいけ」が開催されました。この会は射水市体育指導委員協議会研修部の主催で、市長と市教育委員会関係者及び体育指導委員の情報交換や懇親を目的に開催され、今回が第2回目です。



## 夜なべ談笑会 「市長さんと語らんまいけ」が開催される

場所も前回と同じ大門総合会館こぶしホールであり、市長から、ぜひ円座になって話し合いたいとの要望があったため、当日は入念に床のじゅうたんの掃除を行い、入室は土足禁止としました。市長、山崎会長の挨拶のあと、教育委員会から平成22年秋に本県

で開催される「全国スポーツ・レクリエーション祭」の概要が説明されました。全国スポーツ祭は、国内最大の生涯スポーツの大会であり、県内15市町村で29種目の競技が開催されます。

このうち射水市では、女子ソフトボール・ソフトバレーボール・男女混合綱引・パークゴルフの4種目が実施されます。大会開催に当たり、運営委員や審判員に体育指導員

去る8月23・24日の2日間にわたって、氷見市で開催されたアウトドアスポーツ研修会に、山崎会長を始め11名で参加しました。

1日目は、氷見漁港からバスで山頂付近まで移動して、

## アウトドアスポーツ 研修会に参加して

大門・大島ブロック  
宮本 相生

お互いの技をかけ合い、上達を図る組手主体の相対演武を中心としています。そして、お互いの技をみがき合う中から自然に尊敬し合い助け合う人間を大切にす精神が養われていきます。

「半ばは自己の幸せを半ばは他人の幸せを」の基本理念のもと、相対演練を通じて、相手と共に上達することを楽しみながら自分だけでなく周りの人のことも思いやれる社会に役立つ人づくりを目的としています。

## 空手道

強い体と優しい心を目指す

空手道は伝統の武道で、体の向上はもちろん、礼儀・ルール・マナー・集中力・忍耐力が自然と身に付きます。

○基本的な練習の流れ  
挨拶↓その場基本↓移動

大会については、夏に県大会があり、1位の子どもたちが秋に開催される全国大会に出場できます。来年の全国大会は青森県で開催されます。

## 剣道

### チャレンジ剣道

剣道を始めるには、最初から無理してやらないよう、まずは出来ることからやっていくことで、楽しさを見出すことが大切です。

そういうことを心がけながら、各教室のスタッフ(指導者)が親切に対応しています。各教室の活動内容を紹介します。『チャレンジしてみませんか!』



教室名	活動日	対象	人数	場所	時間
新湊少年剣道教室	月・水・土曜日	小・中学生	約20名	新湊アイシ李轻金属スポーツセンター武道館(4月~11月の月曜日は、新湊小学校体育館)	午後7時30分~8時30分(土曜日は午後6時~8時)
小杉剣道教室	月・木曜日	小・中学生	約40名	小杉中学校体育館	午後7時~8時30分
小杉南剣道教室	木・土曜日	小学生	約30名	中太閤山小学校体育館	午後6時~9時30分
あしつき剣友会	火・木曜日	小・中学生	約40名	大門中学校体育館	午後7時~8時30分



# スポーツ

## 富山県体育指導委員会が射水市で開催される

去る11月16日に富山県体育指導委員会研修会が、アイザック小杉文化ホールで開催され、県内各市町村から161名の体育指導員が参加しました。この研修会は、体育指導委員の資質向上を目的に、県内の各市町村が持ち回りで開催しています。今年度は射水市の順番であり、この企画運営のため、射水体指は事前に十数回の企画会議を行って念入りに準備を進めました。

県体育指導委員協議会会長の横田安弘氏の挨拶の後、県教育委員会スポーツ・保健課長伊東与二氏の祝辞、射水市教育委員会の山下富雄教育長の歓迎の言葉が続きました。

午前のメインである講演は、射水市（新湊）出身の筑波大学教授の菊 幸一氏にお願いし、「これからの体育指導委員に期待されること ～スポーツと地域の健康づくりをめぐる～」と題して講演していただきました。従来のスポーツは、競技指向でしたが、健康・生涯スポーツへと変遷しつつ



の協力が不可欠であり、今年度から協議会では事業部内にこの4種目を含めた専門部を設置して、人的配置を手厚くしており、今後競技の普及・強化・審判員の育成などに当たります。

談笑会の後半は、懇親会を兼ねており、女性体指が朝か



筑波大 菊 幸一氏の講演

ら腕によりをかけたご馳走の数々がテーブルに並び、文字通りひびきをつき合せての会話が弾みました。会の終わりに、市長じきじきの歌唱指導による射水市民の歌に続き、恒例の「若い力・富山県民の歌」で盛り上がりつつ閉会となりました。

2日目は、水見漁業協同組合青年部の皆さんを講師に招き、指導を頂きながら魚を三枚に下ろす体験しました。アウトドア料理、家庭料理にでも使え、時間のたつのも忘れるぐらいに楽しく学ばせて頂きました。その後、包丁の研ぎ方の講習もあり有意義な研修会でした。

あります。ライフスタイルの中で楽しみとしてスポーツに取り組むことが重要であり、その企画や運営に体育指導委員の役割が求められているといった内容であり、改めてスポーツボランティアとしての自らの重要性を自覚させられるものでした。

午後からの実技研修は、スナッグゴルフとダーツが行なわれ、スナッグゴルフは、日大ゴルフ部OGの中山利恵氏を講師に招きました。スナッグゴルフは、硬式テニスボー

ルに似たボールを、おもちゃのようなゴルフクラブを使って打つ競技です。本来は、屋外の芝のコースで実施しますが、今回小杉体育館のアリーナに9ホールの仮設コースを設置しました。道真はおもちゃのようですが、この競技は、アメリカのPGAツアープロによりゴルフの基本技術を学ぶために開発されたとあって、ボールを打つと実際のゴルフによく似た感覚です。

コースの長さは数十ヤードと比較的に長かったが、さすがは県内から集まった体育指導員の猛者たちであり、いたるところでホールインワンが発生して歓声が挙がっていました。



ダーツは下地区で盛んなニュースポーツ競技であり、下地区の体育指導員の近藤保之氏ほかが講師となりました。姿勢や投げ方の説明の後、301という対戦式のゲームを行いました。ダーツを3本ずつ投げ、301点から順に点数を差し引き、最後は0点になるように投げ合う競技ですが、意外に頭の体操にもなると好評でした。



**ご存知でしたか？  
体育指導員は  
こんなところで活躍しています**



### 【第2回全国パークゴルフ

#### 交流会in射水

小杉・下ブロック  
島倉 康浩

8月30日と31日の2日間、全国パークゴルフ交流大会in射水が下村パークゴルフ場とパークゴルフ南郷の2会場で開催されました。この大会は、本州で初めてパークゴルフを普及推進した射水市を全国にPRし、全国の愛好者に来て

いただき、パークゴルフの1層の振興と交流、健康の増進を図ろうとするものです。昨年からはじめ、今回2回目となるこの大会に、県内からの387名を含む計463名の選手が全国から集まりました。競技は男女それぞれ68歳以上と67歳以下の4部門に分かれ、下村・南郷の2会場を2日間で回りながら、計72

ホールのレストランで

## 県体指スポーツフェスタ が開催される

昨年の9月7日、砺波総合運動公園・県西部体育センターで富山県体指スポーツフェスタが開催されました。競技種目は、ソフトボール、ビーチボール、キンボール、ターゲット・バードゴルフの4種目で、

開催の目的は、「県内の体育指導委員が一同に会し、スポーツを通して交流を深めるとともに、体験したことを今後の実技指導に生かす」ことです。各市町村の対抗戦でもあ

競い合いました。分家市長は来賓10名による始球式により始まった熱戦は、初日はあいにくの雨でしたが、2日目は剣岳・立山も顔を覗かせる快晴に恵まれました。競技場のあちこちから歓声や「ナイスショット！」の掛け声が上がりました。各スタートゲートに設けられた休憩ポイントでは、大会スタッフが準備した冷たいドリンクで喉を潤し

り、熱戦が繰り広げられました。射水市は、73名の体指を選手として送り込み、それぞれの競技で上位入賞を狙いました。主な結果は次のとおり。

### 【ビーチボール】

小杉・下ブロック  
折橋 智美

ビーチボールは、フリーの部・オーバーの部で各2チームが出場しました。フリーの部は決勝トーナメントに残れませんでした。オーバーの部の1チームは、小杉ブロックの7名で交代しながら試合

### 【富山県駅伝競走大会】

大門・大島ブロック  
窪田 潤浩

11月9日に県道富山〜高岡線で県駅伝競走大会が開催されました。

私は射水市の体育指導員になったことからこの駅伝競走の中継員を手伝う機会を得ました。ところで駅伝の魅力つてな

に挑みました。予選の最後で氷見チームに負けたため決勝トーナメントへの進出をあきらめかけていたところ、勝敗・セット数も同率で、得失点差の微差により決勝トーナメントへと駒を進めることができました。決勝トーナメントも苦勞して勝ち上がると、決勝の相手はなんと射水市のもう1チームでした。1セットずつを取り合ったところで時間切れ。抽選じゃんけんとなり、私たちのチームが優勝しました。今回射水市で1位2位を独占できたのもみんなのチームワークだと思っています。

んでしょうか？

私は、始めのころは駅伝に魅力を感じていませんでした。もともと走ることは苦手で、中継員の仕事も手伝いに動員されている程度の気持ちでした。しかし、何回か手伝ううちに選手やスタッフの真剣さ、緊張感を身近で感じる事ができるようになり、駅伝が好きになっていきました。自分で走らなくても、走る人の気



始球式の様子

### 【海王丸ロードレース】

10月19日、射水市体育協会の主催で第10回のおしんみなと海王丸ロードレースが開催されました。例年、新湊プロツクの体指が運営協力しています。参加者の受付、ゼッケン渡し、完走後の記録証の発行などの協力を行いました。

### 【元旦マラソン】

たプレイヤー達がゴルフ談義の花を咲かせ、互いに親睦を

を独占しました。表彰式では各賞にズワイガ

深め合っていました。結果は、68歳以上男子は野村幸司さん(射水市)、67歳以下男子は前田正一さん(射水市)、68歳以上女子は齋藤和子さん(射水市)、67歳以下女子は井戸美千代さん(射水市)が優勝し、地の利を活かした射水市が各部門の優勝



ニや昆布、白エビ、ほたるいかほか、射水市名産が副賞として添えられました。2日間の競技を競い合ったパークゴルフフアー達は、来年の大会での再会を約束し、盛況の内に大会は幕を閉じました。参加された463名の選手及び大会運営を支えた137名の役員・係員の皆様、ご苦労

持ちや勝負の駆け引きなどが少し判ってきたからです。昨年からは、駅伝の写真を撮るようにもなりました。ファイナダー越しに選手の息遣いを感じられるのもまた違う魅力があります。より近い位置で撮影できるのも、中継員をしているからこそで、楽しませてもらうことができます。体育指導員は駅伝に限らず、いろいろなスポーツの現場に行つて、いろいろな手伝いをします。スポーツを通じ、たくさんの人やたくさんの方の楽しみに出会い、自分の人生の引き出しがどんどん増えていく。私は、体育指導員になって本当に良かったと思つています。

### 【体育協会役員(平成20年度)】

顧問	四方 正治	湊谷 道夫
	夏野 元志	大代 忠男
会長	分家 静男	
副会長	温井 順一	中村 弘
	石黒 勝久	梶尾 慧
	勝山 雄平	山下 富雄
	星野 正義	
専務理事	牧野 昇	
常務理事	糀 秀一	能松 清治
	長谷部 志朗	三上 久男
	高橋 清	山田 武志
理事	佐伯 修太郎	浜谷 清一
	江守 正	渋谷 一男
	矢後 雅幸	高道 泰博
	豊田 博保	近藤 繁二
	原 孝典	大角 省三
	梶谷 幸一	
監事	島倉 誠	二口 紀代

### 【加盟団体(平成20年度)】

(競技団体)	スキー協会	水泳協会	放生津校下体育協会
	ヨット協会	ボウリング協会	中伏木校下体育協会
	陸上競技協会	サッカー協会	作道校下体育協会
	テニス協会	バレーボール協会	片岡校下体育協会
	体操協会	バスケットボール協会	七美体育協会
	ハンドボール協会	ソフトテニス協会	戸破地区体育協会
	卓球協会	野球協会	橋下条体育協会
	相撲連盟	馬術協会	大江地区体育協会
	柔道連盟	ソフトボール協会	池多体育協会
	バドミントン協会	弓道連盟	中太閤山体育協会
	剣道連盟	クレイ射撃部	大門地区スポーツ振興会
	空手協会	ゲートボール連盟	二口地区体力づくり振興会
	ゴルフ協会	ビーチボール協会	浅井体力づくり振興会
	パークゴルフ協会	綱引協会	水戸田地区スポーツ振興会
	合気道協会	フレッシュテニス協会	大島地区体育振興会
			下地区体育協会
(関係団体)			射水市体育指導委員協議会
			射水市中学校体育連盟
			射水市スポーツ少年団

# 体育協会 20年度主な事業

## 第26回

### 富山県駅伝競走大会

平成20年11月9日(日)

今回の射水市チームは、「絆」をテーマに選手団が一丸となつて、18区間42.5キロメートルを紺色の襷で繋ぎ、念願の3位でゴールしました。



3位でゴールする橋本真那選手

## 第10回

### 海王丸ロードレース

平成20年10月19日(日)

快晴の下、第10回記念大会として、ゲストラランナーに男子マラソン日本記録保持者の高岡寿成選手(カネボウ陸上部)を迎えて行いました。712名が参加して奈古の浦を快走しました。



ゴールするファミリーの部1位の親子

## 第3回射水市民体育大会 総合開会式

平成20年10月19日(日)

新湊アイシン軽金属スポーツセンター(新湊総合体育館)で市民体育大会の総合開会式を行いました。



選手宣誓は、ビーチボール競技の選手



大門会場でのスタート

## 射水市

### 元旦マラソン

2009

平成21年1月1日(日)

新湊会場・大門会場の2会場で、小雪の舞う中、652名のランナーが新春の市内を走り抜きました。

## 施設利用案内

(財)射水市体育協会では、指定管理者制度により、次の2施設の管理及び運営をしています。

### 海竜スポーツランド

射水市海竜町29番地  
電話 86-8310

#### ■利用時間

午前9時から午後9時まで  
(日曜日及び休日は、午前9時から午後7時まで)

利用料金	一回券	回数券 11回綴り	年間 利用券
一般	300円	3,000円	21,000円
高校生	200円	2,000円	14,000円
70歳以上及び 障害のある方	150円	1,500円	10,500円
小・中学生	100円	3,000円	7,000円
未就学児	無料		

※スイミングスクールについてのお問い合わせは、海竜スポーツランドへご連絡ください。

#### ■アリーナ専用利用料金

団体(10名以上)	1回 2,000円
-----------	-----------

#### ■休館日

- 毎週火曜日(「国民の祝日に関する法律」の休日に当たる場合は除く。)
- 12月29日から翌年1月3日までの日

#### ■海竜スポーツランド利用者数

(単位:人)

20年	一般利用	水泳教室	計
1月	5,105	1,440	6,545
2月	5,556	1,501	7,057
3月	6,186	1,443	7,629
4月	5,981	1,551	7,532
5月	6,529	1,393	7,922
6月	7,087	1,544	8,631
7月	9,595	1,378	10,973
8月	10,142	1,293	11,435
9月	6,409	1,283	7,692
10月	6,150	1,486	7,636
11月	5,772	1,242	7,014
12月	5,218	1,351	6,569
合計	79,730	16,905	96,635

### サン・ビレッジ新湊

射水市有磯1丁目6-1  
電話 86-8310

#### ■グラウンド利用料金

1時間	全面	400円
	半面	200円

#### ■夜間照明の利用料金

1回2時間以内 4,000円

#### ■休館日

- 毎週火曜日(「国民の祝日に関する法律」の休日に当たる場合は除く。)
- 12月28日から翌年1月3日までの日

海竜スポーツランドやサン・ビレッジ新湊を気軽に利用されて、自分自身のため、心身のリフレッシュや健康増進に努めましょう。

#### ■サン・ビレッジ新湊利用者数

(単位:人)

20年	多目的グラウンド	トレーニング室	ミーティング室	計
1月		550	8	558
2月		608	20	628
3月	660	540	10	1,210
4月	1,215	531	10	1,756
5月	1,555	539		2,094
6月	1,497	571		2,068
7月	1,645	529		2,174
8月	689	514		1,203
9月	1,816	504		2,320
10月	2,485	579		3,064
11月	175	552		727
12月	20	509		529
合計	11,757	6,526	48	18,331